

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・なかだ浜山の里

施設種類： 認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）

日時： 令和7年5月29日（木） 会場・・・なかだ浜山の里 相談室

出席

（人数）

利用者	0名	高齢者福祉課職員	1名
利用者家族	0名	あんしん支援センター職員	1名
地域の代表	5名	施設職員	3名
第三者委員	1名		

① 令和7年度事業計画・・・別紙参照

当施設は福祉避難所に登録しています。

② 事業所のサービス利用状況等について

令和7年5月29日 現在

性別	人数	介護度	人数	出身地	人数
男	6	要支援2	0	出雲	13
女	11	要介護1	3	大社	2
		要介護2	5	平田	0
		要介護3	4	湖陵	0
		要介護4	1	斐川	1
		要介護5	4	多伎	1
合計	17	合計	17	合計	17

*利用者数 17 名

●平均年齢 【84.2歳】 ●平均介護度 【2.88】

●年齢別

【70歳代】6名 【80歳代】5名 【90歳代】6名

③ 利用状況について

*令和7年5月12日 男性1名の退所があり、現在17名です。

④ 待機者状況について

*入所申し込みは3件です。入所はタイミングがあり、申し込みをしておられる方に電話をしましたが、入院中だったり、いまはその時期ではないといった理由で1床空いた状況です。リハビリテーション病院から問い合わせがあり、6月には、新規の方が決定すると思われます。

⑤ 行事報告

4月2日、4日は霊山寺へドライブに出かけました。満開の桜で皆様とても喜んでおられました。

4月17日には、斐川のチューリップを見に出かけました。外出は天候に左右されるため急ぎよ、計画し実行することもあります。

6月は毎年、花の郷へ出かけていましたが、ほとんどの方が車椅子が必要になり、今年度は施設内で「屋台村」と称し、昔の遊び（射的、ヨーヨー釣りなど）や綿菓子、お好み焼きなどを提供しようと計画しています。

⑥ 研修報告

5月22日、総合火災訓練をおこないました。夜間想定でおこないました。実際、夜勤者二人では限界があるということを実感しました。避難誘導でまずはホールまで誘導し、室外への避難を計画しましたが、煙からの危険を考え、とにかく外へ避難するようにと指摘されました。ただ夜間、利用者の方が職員なしで外で待機できるのかという問題があり、消防車が到着するまでの間に何ができるかを焦点に考えていく必要があると感じました。

⑦ 面会について

原則、親族で2名まで、相談室で30分です。マスク着用は引き続きお願いしています。県外から来られた場合などは居室で一緒に過ごしてもらうこともしています。

⑧ 感染症対策について

朝夕の消毒、マスク・手袋の着用、手洗いの励行など感染症対策を継続しています。

⑨ 食事の提供について

昼のみヨシケイ（湯煎、流水解凍）を利用し、朝と夕食は手作りしています。それぞれの方の嚥下状態を考慮し、刻み、ミキサー食、とろみをつけたりしています。

毎月、献立表をご家族に配布しています。それぞれの利用者さまのアレルギーや嗜好を把握し、別メニューを提供することもあります。

季節ごとに旬の食材を使用したり、行事食にも力を入れています。万が一の食中毒発生時の検査のため、調理済みの食品の一部を保存しています。

⑩ 嗜好調査結果について・・・別紙

年に2回、嗜好調査をおこなっています。回答が難しい方もおられますが、なかには「美味しい、ありがとう」と言いながら食べられる方もおられます。食べ残しの量をみたり、その都度、味つけがどうかを確認するようにしています。

⑪ 入職者について

4月から、2名の職員の入社がありました。お二人とも経験者で、スムーズに職場に馴染んでいただいています。新しい方が入られると、いままで気づかなかったことも見えてきたりします。心新たにケアを見直したりしてよりよい施設づくりをしていきたいと考えています。

今後の研修として食中毒予防（保健所依頼済み）、オムツ研修（業者依頼済み）を予定しています。

⑫ 令和6年度外部評価結果について・・・別紙

昨年、推進委員会を活用した外部評価をおこないました。今年度の目標として

- ① 感染症発生時の利用者対応
- ② 地域との連携

を挙げました。

⑬ 令和7年度のお願い

今年度もこの委員会を通して外部評価をおこなうことにしました。今後の予定としてご家族へのアンケートを実施し、内部評価をおこない、その後、委員会で外部評価をお願いしたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

質疑応答

① 【委員】

福祉避難所になっているという説明が有りましたが、コミセンも避難所です。福祉避難所へ入るにはどのような手続きが必要ですか？

【事業所】

登録はしてありますが、実際には今までそういうケースがなく、よくわかりません。

【市役所職員】

避難所には二通りあり、直接と二次避難所です。まずは直接避難所に行ってください、必要に応じて二次へということになります。今後、市役所で詳細について検討する予定です。

② 【市役所職員】

外部評価で目標を掲げられ、良いと思いますが、2番目の災害時等と地域の連携とは、特に夜間は難しいと思いますが。

【事業所】

そうですね。災害時は難しいですね。コロナ渦より、地域との交流が途絶えており、少しでも施設のことを知っていただきたく、そのように挙げました。

③ 【委員】

コロナ陽性者が例えば、今日一人、出た場合、どのようにされますか？

【事業所】

陽性者のでたユニットすべての利用者を居室対応とします。職員はガウン、手袋を着用し、対象利用者に接した後はガウン等をすべて部屋で脱ぎ、他の利用者に接するときはガウンを替えます。「手」が媒体なので一人ずつ、手袋を交換します。もう片方のユニットへの感染拡大を避けるため職員をユニットごとで固定し、休憩室も分けます。

【委員】

食事はどうされますか？

【事業所】

陽性者は使い捨て食器を使い、部屋のゴミ箱に捨て、外には持ち出さないようにします。

【委員】

入浴はどうされていますか？

【事業所】

清拭にしています。

【委員】

部屋にずっといるのもストレスでしょうね。

【事業所】

はい。それが去年も問題で、陽性者はフロアに出ていただき、感染していない方に部屋で過ごしていただくようにしました。今後は、陽性者と非陽性者の食事の時間をずらすなどしてフロアに出ていただくことなどを考えています。

④ 【委員】

食中毒は今までないですか？

【事業所】

幸い、ありません。これから食中毒が起こりやすい時期ですので、さらに衛生面や、食事を作りはじめる時間など気を付けています。来月、保健所の方に来ていただきますので、改善すべき点は早急になおしたいと思います。

⑤ 【あんしん職員】

要介護5の方が4人もおられますが、たいへんではないですか？

【事業所】

更新の際、介護度が上がった場合、必ず、特養の話をしますが、ご家族は慣れたところでお願いしたいと言われます。

いちばんたいへんなのがお風呂です。グループホームは一般家庭のような浴室なので、ストレッチャーにビニールシートをし、プールの様な状態にし、湯をためています。週に1回、職員3人でやりますが、利用者からはたいへん喜ばれています。あと1回は清拭にしています。

⑥ 【あんしん職員】

入職者が二人もあったとのことですが、人手は足りていますか？

【事業所】

はい。ようやく定員に達しました。

【委員】

よそでは外国人労働者を雇ったりしておられますね。

【事業所】

そういう話もありましたが、うちのような小さなところでは費用もかかりますし今は考えていません。昨日「ふるさと島根定住財団」から紹介がありましたが、お断りしたところです。

⑦ 【委員】

うちにも高齢者がいますが、急に歩けなくなったり、食事が食べれなくなったりします。様子をみていたらまた、良くなったりします。先生に聞いたら、具合が悪いわけではなく、認知症の症状だと言われました。

【事業所】

はい。1日のなかでも症状はかわります。

今年度、1回目の会議でしたが、いろいろ貴重な意見や質問をいただきました。